電池材料研究会　開催案内

―中性子・放射光構造解析による次世代電池（燃料電池、二次電池）開発―

主催：中性子産業利用推進協議会（IUSNA）
　　（一財）総合科学研究機構（CROSS）
協賛：J-PARC MLF 利用者懇談会
後援：茨城県

日時：2027 年 1 月 26 日（火）13:00～17:05
開催形式：オンライン

開催趣旨：低炭素社会の実現やモビリティの電動化に向け、二次電池、燃料電池などの電力貯蔵・変換技術の研究開発が加速しています。それらを背景に、本研究会ではその最新動向や技術課題などにも目を向けながら、中性子線を初めとする量子ビームを用いた電池研究について議論を行う場とします。今回は、電池研究で使用されている中性子線及び放射光を用いた次世代電池開発の現状について、講師の皆様にご紹介いただきます。

また、中性子 AI・データサイエンス共創研究会(以下 AI 共創研究会と略す)が 2026 年 10 月に設置され、その最初の連携として本研究会において、AI 共創研究会の活動紹介と電池材料における連携についてパネルディスカッション形式で討論します。

プログラム（敬称略）

※講演時間は質疑の時間を含みます

13:00～13:05　開会挨拶、開催趣旨説明
電池材料研究会主査／トヨタ自動車（株）　雨宮 一樹

司会：雨宮 一樹（トヨタ自動車(株)）

13:05～13:50　「全散乱データを用いた蓄電池用電極材料の原子配列モデリングとトポロジー解析」
北村 尚斗（東京理科大学）

13:50～14:35　「構造解析を活用した新イオン伝導体の探索」
八島 正知（東京科学大学）

14:35～14:45　休憩

14:45～15:30　「中性子小角散乱による、燃料電池触媒層のメソ細孔内部の液水の解析、および散乱スペクトルを用いた三次元微細構造の構築」
原田 雅史（(株)豊田中央研究所）

15:30～16:15　「NEDO 水素研究における中性子利用の最近の進展と展望」

今井 英人（FC-Cubic）

16:15～17:00　AI・データサイエンス共創研究会の活動紹介と電池材料における連携についての討論

モデレータ　三田 一樹（総合科学研究機構）

17:00～17:05　終了挨拶

【参加費】無料

【参加申込方法】下記 Microsoft Forms からお申込み下さい（受付締切：1 月 19 日（火））

https://forms.cloud.microsoft/r/B5VZrxmXsb

Microsoft Forms がご利用できない場合には、(1)お名前・ふりがな、(2)ご所属、(3)連絡先(E-mail address)(4)参加方法（現地・WEB）をメール本文にご記入の上、中性子産業利用推進協議会事務局までメールにてお申込みください。メール申込先　E-mail: info@j-neutron.com

※ZOOM の接続 URL は、受付締切後に参加を申込まれた方にお知らせします。

【アンケートのお願い】

本研究会終了後にアンケートをお願いしています。次回開催のための参考とさせていただきますので、ご回答にご協力をお願いいたします（回答締切：2 月 5 日）

（準備中）

＜問合せ先＞

中性子産業利用推進協議会　事務局　：　info@j-neutron.com
〒319-1106 茨城県那珂郡東海村白方 162-1　いばらき量子ビーム研究センターD201
TEL：029-352-3934　FAX：029-352-3935
※勤務日は火曜日、木曜日のみです。ご注意下さい。